

第32回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年5月23日（月）13時15分から14時00分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事 大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、 北村都市整備部長、中島基盤整備担当部長、橋本教育次長、内藤議会議務局長、林会計管理者 佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長
付議事項	<p>(1) 都内・市内の状況について</p> <p>①東京都の状況（資料No.4・5・6）</p> <p>②市内の状況（資料No.1・2）</p> <p>③国立市医師会長コメント</p> <p>(2) 5月23日以降の取組について（資料No.7）</p> <p>(3) 市の公共施設の対応について</p> <p>(4) 自宅療養支援室の対応について</p> <p>(8) その他</p> <p>①立川消防署からの情報提供</p> <p>②マスクの着用について</p> <p>③自宅療養支援室の今後の対応について</p>
主な内容	(進行：大川健康福祉部長)
1 議 題	<p>(1) 都内・市内の状況について（増田健康推進担当係長）</p> <p>①都内の状況(資料No.4・5・6)</p> <p>・感染状況は「拡大傾向にないが、警戒が必要である。」、医療提供体制は「通常の医療との両立が可能な状況である」と分析されている。</p> <p>②市内の状況（増田健康推進担当係長）</p> <p>・2月の第6波をピークに減少傾向にあるが、5月の感染者数では、20代が高い割合を占めている。</p> <p>③国立市医師会長コメント（No.3）</p> <p>・3月をピークに陽性者数、陽性率が減少傾向にある。ワクチン接種は重症化予防の観点では、意義があるといえる。</p> <p>(2) 5月23日以降の取組について（増田健康推進担当係長） (資料No.7)</p> <p>都民向けでは、「混雑している場所や時間を避けて行動」・「帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動の際は、「三つの密」の回避を含め基本的な感染防止対策を徹底」→「基本的な感染防止対策の徹底」・「感染を広げないための行動」に変更となっている。 事業者向け、イベントについては、大きな変更なし。</p> <p>(3) 市の公共施設の対応について</p> <p>●公民館、図書館、体育館、芸小ホール、郷土文化館（橋本教育次長） 引き続き現状の対応とする。</p> <p>●集会所、公園等（黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)） 引き続き感染防止対策をとったうえでの利用とする。</p> <p>●福祉会館（大川健康福祉部長） 入浴の人数制限は継続する。</p>

(4) 自宅療養支援室の対応について (葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長)

相談件数、物資の配達件数は、4月よりも5月の件数は減少傾向にあるが、自宅療養者数は3桁で推移している状況である。

(8) その他

①立川消防署からの情報提供

4月の救急出場件数は3月の出場件数に比べると減少しているがほぼ変わらない状況である。

②マスクの着用について (大川健康福祉部長)

- ・屋外では2m以上距離が離れていて、会話もほとんどない場合は、マスクを着用する必要はない。
- ・屋内においても、距離、会話がななどの状況であれば、マスクの着用は必要ないが、会話の際には、マスク着用をお願いする。
- ・子どものマスク着用については、これまでと同様の対応とする。

③自宅療養支援室の今後の対応について (葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長)

6月からは、月～土曜日はこれまでと同様に2階執務スペースでの電話対応とするが、日曜、祝日に警備室に連絡が入った場合は、翌平日に市から連絡をとる形をとっていきたい。ただし、緊急性が高いものについては、管理職対応としたい。

2 本部長指示及び対応方針について

市内の自宅療養者数が3桁で推移し、入院中の方の人数が減らないことが受けとめておかなければならない。会食等も緩和されるが、終息したわけではないため、最善を尽くしながら市民の生活、日常生活を確保するというで業務にあたってほしい。

以上